

青少年の地域活動拠点  
運営団体選定結果報告書

令和7年1月

## 1 選定方法

### (1) 手順

ア 選定にあたり、青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。

イ 青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 120 点満点の計 600 点満点とし、最低基準を委員全員の持ち点の 60%（360 点）としました。

ウ 選定評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

### (2) 検討会 委員（50 音順）

伊藤 元秀	栄区青少年指導員協議会会長
北野 優子	栄区本郷第 3 地区主任児童委員
細田 利明	栄区本郷中央連合町内会自治会会長
湊 浩一	横浜市立本郷中学校校長

### (3) 選定評価委員会 委員（役職）

こども青少年局青少年部長  
こども青少年局青少年育成課長  
こども青少年局企画調整課長  
栄区地域振興課長  
栄区こども家庭支援課学校・連携こども担当課長

## 2 選定結果

### (1) 応募団体

1 団体（社会福祉法人地域サポート虹）から応募がありました。

## (2) 評価

(※配点及び応募団体の採点欄は、選定評価委員会の委員5人全員の合算点です。)

評価項目		配点	応募団体の採点
基本方針	(1) 青少年育成施策に関する理解について	25	22
	(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	25	13
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動できる場の運営	100	76
	(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	100	92
	(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	100	96
	(4) 主に中・高校生を対象とした学習支援等	100	64
	(5) 地域の多様な団体・機関等との連携、保護者に対するアプローチ、さかえ次世代交流ステーションにおける連携	100	88
事業運営	(1) 収支計画について	25	16
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	15
合計点数		600	482

### 3 選定評価委員会における主な意見

- ・全体的に、具体性があり良い提案だった。
- ・困難を抱える利用者への理解が深いと感じた。
- ・地域と連携した取組の実績により、地域から期待され、信頼されている団体であると感じた。
- ・担当者個人の取組にとどめることなく、団体内での後任育成も今後行ってほしい。
- ・実績については記載されているが、今後の取組計画が提案に不足している。プレゼンテーションでは確認できたので、今後の計画を明確にした上で、団体内で共有しながら運営してほしい。

### 4 主な選定スケジュール

時期	手続等
令和6年10月21日(月)～令和6年11月15日(金)	公募期間(申請の受付)
令和6年10月21日(月)～令和6年10月28日(月)	質問の受付
令和6年11月8日(金)	質問の回答
令和7年1月10日(金)	①選定にかかる検討会(書類選考、団体プレゼンテーション、ヒアリング) ②選定評価委員会

(参考：選定評価基準)

<b>1 基本方針</b>		<b>10</b>
(1) 青少年育成施策に関する理解について	・「横浜市中期4か年計画2022～2025」の政策3「困難な状況にある子ども・家庭への支援」や「横浜市子ども子育て支援事業計画」の基本施策2「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」を踏まえた事業計画になっているか。	5
(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	・期間中の具体的な達成目標とその計画方針が示されており、実現性があるか。	5
<b>2 事業実施計画(募集要項中「3 業務の基準」参照)</b>		<b>100</b>
(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動できる場の運営	・青少年が気軽に集い、自由に活動できる場の運営について、取組内容が具体的に示されており、実現性があるか。	20
(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	・青少年が仲間や多世代と交流する機会の提供について、具体的に示されており、実現性があるか。	20
(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	・地域資源を活用した社会参加プログラムの実施について、具体的に示されており、実現性があるか。あわせて地域の様々な団体との連携が見込めるか。	20
(4) 主に中・高校生を対象とした学習支援等	・良好な学習環境が整えられているか、中・高校生に合った学習支援が具体的に示されており、実現性があるか。	20
(5) 地域の多様な団体・機関等との連携、保護者に対するアプローチ、さかえ次世代交流ステーションにおける連携	・地域の様々な団体・機関との交流や連携、人材の育成、保護者向けの事業の企画や広報活動、さかえ次世代交流ステーション内の各事業との連携について、具体的に示されており、実現性があるか。	20

<b>3 事業運営</b>		10
(1) 収支計画について	・利用者負担の考え方を含めて、合理的な収支計画が示されており、応募団体の提案する補助金額が適正であるか。	5
(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	・人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みが具体的に示されているか。	5
		120